

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

令和2・3年度 第10回 理事会議事録 (Web会議) (摘録)

令和4年4月25日(月) 20:00~22:02

出席者 会長：福興和正 副会長：浅井英世、川崎良明、藤岡 治

理事：麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、稲村直樹、猪原秀典、大島清史、大橋一博

杉山貴志子、中澤 宏、永田博史、野上兼一郎、吉村 理

監事：伊東祐久、岩佐英之 事務局：平間妙子、井出あゆみ(計20名)

会長挨拶

この2年間全て初めての事ばかりで右往左往していたが、無事に会を運営できた。理事ならびに監事の皆様に感謝したい。1ヶ月後に代議員会を控えているが、本日の理事会をもとに資料を作成したい。

報告事項

庶務委員会(大橋理事)

- 令和2・3年度第9回理事会の議事録と議事録摘録を報告した。
- 入会・退会・異動の報告をした。
 - 入会者53名は全て4月以降の入会希望である。A会員が6名、B会員は47名である。
 - 退会者は27名でA会員が13名、B会員が14名である。
 - 異動は11名である。
- 令和3年度定期代議員会の式次第を報告した。

地域医療委員会(野上理事)

- 第6回新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療アンケートの報告をした。
- 第1回から第5回アンケートの総括を報告した。
- 第1回から第6回までを総括し、ホームページに掲載予定である。

保険医療委員会(杉山理事)

「令和4年診療報酬改定の概要」を日耳鼻保険医療委員会伝達会議で各都道府県に伝達した内容に沿って耳鼻咽喉科関連項目につき臨床耳鼻科医会HPに4月11日付けで掲載した。

学校保健委員会(大島理事)

- 令和2・3年度第11回学校保健委員会の報告をした。
 - 令和4年度日本医師会学校保健講習会について報告をした。
 - 第53回全国学校保健・学校医大会について報告をした。
 - 令和4年1月に「耳鼻咽喉科学校保健の動向」を発行した。
 - 令和4年度学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について協議した。
 - 令和4年度耳鼻咽喉科健康診断の対応についてホームページに掲載した。
 - 新型コロナウイルス抗原定性検査実施時の検体採取法について変更を提言した。

福祉医療委員会(麻生理事)

- 小児科医が乳幼児健診でOAEだけで乳幼児の聴力を評価することに対して小児科医向けの説明文を日耳鼻ホームページに掲載した。
- 臨床耳鼻科医会のホームページに掲載予定である。
- 小児科医に対して注意喚起したい。

医事問題委員会（阿部理事）

1. 日耳鼻・臨床耳鼻科医会合同医事問題委員会の報告をした。
2. 日本医療安全調査機構について報告をした。
3. 第46回日耳鼻医事問題セミナーについて報告をした。
4. 医療事故のアンケート調査の結果報告をした。

勤務医委員会（永田理事）

1. シニアドクターバンクについて報告をした。
2. ホームページの掲載「勤務医のページ」が候補だが広報・渉外委員会と協議することになった。
3. 求人募集には日耳鼻にも協力を依頼することになった。

協議事項

庶務委員会（大橋理事）

1. 令和4年度事業計画を再協議した。
前回承認された内容を一部修正し協議の上再承認された。
2. 令和3年度事業報告を協議し承認された。

経理・会員福祉委員会（稲村理事）

正味財産増減計算書を用いて決算報告をして承認された。

監査報告（伊東監事）

事業報告並びに会計監査報告をした。

その他

1. 今回の診療報酬改定について説明し協議した。（川寄副会長）
 - (1) 外来感染症対策管理加算が新設された。
 - (2) 連携強化加算とサーベイランス強化加算について説明をした。
 - ① 連携強化加算は施設基準として届出を要し「過去1年間に4回以上感染症の発生状況、抗菌剤の使用状況等を報告していること」が必要である。
 - ② サーベイランス強化加算は施設基準として届出を要し「JANIS・J-SIPHE」等地域や全国のサーベイランスに参加することが必要である。
 - ③ 国立研究開発法人国立国際医療研究センター（AMR臨床リファレンスセンター）より本年6月に委員会を立ち上げるため臨床耳鼻科医会よりの参加依頼があった。
 - (3) 福與会長
本日の理事会で参加することに決定しその方向を進めたい。